



# KTCC NEWS

5号



2020年5月  
(毎月1回発行)

外国人技能実習生と企業の未来を応援します

## 日本語の時間

弊組合では全ての受け入れ企業に対して、毎月定期訪問を実施しております。その中で行う日本語一対面スピーチ。緊張してうまく話せない実習生もいるため、楽しく日本語を学ぶ試みとしてクイズ大会を開催しました。今回はベトナムからの実習生を受け入れ中の広島県Y社。先輩チームと後輩チームで語彙力を競いました。果物の絵を見て日本語名を答えるもので、「勝負」となると俄然やる気が出ます。自分の番に知っている果物が出た時には、とても嬉しそうに「はい！」と手を挙げ大きな声で答えていました。結果は後輩チームの勝利。スピーチでは緊張している実習生も、クイズでは楽しく日本語で回答するなど、日本語で会話をする機会が増えました。

### ●ルール●

- ① 先輩チームのひとり目「メロン」のカードを見せます。  
・本人が正解できれば1点  
・できない場合は先輩チームの誰かが挑戦し、正解すれば0.5点  
・先輩チームで正解が出なかったら後輩チームに回答権が移り、正解できれば2点
- ② 次は後輩チームのひとり目「すいか」のカードを見せ、以降同じ流れで個人戦を進めます。
- ③ 最後はチーム戦で難しい問題をそれぞれのチームに出題。日本語で話し合い、正解すれば3点。



例題です。「わかる人は手を挙げて！」



## ベストショット

「みんなちがって、みんないい」



組合での講習の一環として、先生をお招きして生け花に挑戦しました。四季折々の花や草木を通じて季節を感じる感性を育みます。説明はもちろん全て日本語。どこの花をどのように配置するのか、ひとつひとつ理解しながら生けていきます。先生に「花に話しかけて下さい」と言われ、「きれいですね」「どこがいいですか」と、とても素直な実習生たちでした。同じ材料を使っても出来上がりは様々で、色々な「顔」があることに驚きました。自分のものとは異なる作品を見てその素晴らしさを感じ取り、他者を敬う気持ちを培って貰えたと思います。

## トラブル事例



### 「初めての利用」

ベトナムからの実習生Aさんはある日、駅に設置された1日400円のコインロッカーに荷物を預けました。1週間後開けようとしたが、預かり期限が過ぎて鍵が使えなくなっていました。業者の営業時間外であったため、翌日組合スタッフが業者に連絡。超過分2800円を支払ってようやく荷物は戻ってきました。Aさんは400円で何日も使えろと思っていたようです。

ベトナムでは対面で荷物を預けることが一般的で、コインロッカーのようなものはほとんどありません。また、日本語での注意書きをきちんと見ていなかったため、このようなことが起こってしまった。コインロッカーの正しい使い方を説明し、初めて利用するものに関しては事前に確認するよう指導しました。

## 日本語上達方法

文：組合サポートスタッフ

定期訪問時恒例の日本語スピーチ。ある実習生が「最近仕事がとても忙しいです。でも休憩時に日本人と話をして、日本語が流暢になりました。日本語をもっと勉強したいです。」と発表しました。実習生みんなが日本語の勉強を頑張っていて、工場長も「日本語が通じるようになってきた」とおっしゃっていました。

どんなに忙しい職場であっても休憩時は、日本人と会話をする絶好の機会。実習生同士で固まらず、積極的に日本人とコミュニケーションを取ってほしいです。日本語の上達だけでなく、会話をすることで人間関係も良くなります。実習生の「日本語の先生」として協力して下さる企業の方々に、心より感謝申し上げます。



ひよこ ナインさん(ミャンマー)  
2017年11月入国

愛知県の企業にて、パン製造の技術を身に付けるため日々実習に勤しむナインさん。非常に謙虚で気配りもでき、社内からの人望が厚い好青年です。勉強にも熱心に取り組み、昨年12月の日本語能力試験でN2に合格しました。

ナインさんの母国ミャンマーは仏教の国。ナインさんは大仏が大好きで、高さ約18mの大仏がある聚楽園公園(愛知県東海市)に、既に6回訪れています。そんなナインさんが、仏の心について話をしてくれました。

「仏陀はいつも私の心の中にいます。毎日の生活の中で色々なことがあっても、大仏を見ると仏陀にお会いしたようで、嬉しく有難く清らかな気持ちになります。今年の秋に満了帰国です。帰国までがんばります。」

遠い異国の地での生活は大変なことでもたくさんあったでしょう。そんな中、心の支えの存在はとて大きかったと思います。帰国まであと少し。実習先企業の皆様、組合スタッフ全員が、無事実習を終えることを見守っています。

## ちょっといい話

入国後一ヶ月間の組合での講習を終え企業に配属される全ての実習生に、組合からのプレゼントとして日本語能力試験N3の問題集を渡しています。それに加えて今回の組合スタッフから手作りのガーゼマスクが送られました。

新型コロナウイルスの影響でガーゼマスクの材料も手に入りにくくなっています。生地はなんと日本から準備できましたが、ゴムひもはベトナムから送ってもらいました。内側にガーゼポケットもついている逸品で、作った数は50枚以上！実習生の健康を願う心のもった贈り物に、新型コロナウイルスで暗くなりがちな気持ちが明るくなりました。



さっそく着けてみました。マスクの下は笑顔です。



～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。日本語教育、人間力向上教育、各種サポートは、受け入れ企業様にも好評を頂いております。「外国人技能実習制度を通し日本企業と諸外国の架け橋になりたい」「日本での経験により成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけど・・・」「実習生を見てみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。



Kansai Technical Cooperation Center

協同組合関西技術協力センター 広報課

KTCC 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号

TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時) <http://www.kansai-gijyutsu.org/>



本部外観

発行・お問い合わせ